



立科町

議会だより



町長へ要望書を手渡しました



ここに注目!!

- 常任委員会行政視察報告
- 移住者との意見交換会
- 要望書の提出
- 議会と語る会のお知らせ



2026.1.28 No.188

【視察目的1】 登山者協力金

町の財源確保の一環として蓼科山登山者に対する「協力金」の創設を検討するにあたり2か所の先進地を視察しました。

財源確保の手段の一つとして、今後町側と協力し検討したいと考えております。

〈南アルプス(伊那谷エリア) 登山者協力金の取り組み〉

長野県伊那市 伊那市役所 10月30日(木)

令和7年(2025年)6月1日から制度開始

協力金:一口500円から(何口でも可)

構成員:伊那市・飯田市・大鹿村 山岳遭難防止対策協会ほか

本年度から長野県内から南アルプスに入山する登山者に対して、協力金のお願いを開始。協力頂いた方には山小屋の女将さんが描いた記念カードを配布。

〈大杉谷入山協力金の取り組み〉

三重県多気郡大谷町 大谷町役場、入山口 他 10月31日(金)

令和2年(2020年)4月17日から制度開始

協力金:1,000円(返礼品としてピンバッジorストラップ)

構成員:大谷町

協力金の導入経過や、金額設定・関係機関との連携や協力金の使い道などについて多岐にわたり説明を受けました。



【視察目的2】 遊休荒廃地開発事業

耕作放棄地対策・スマート農業などをテーマに、地域において法人を立ち上げ、耕作放棄地の解消、水田の管理、農産物の生産・販売、加工品の製造、オーナー制度など多岐にわたる活動を展開している農事組合法人田原を視察しました。



たわら 〈農事組合法人田原 (伊那市田原地区)の取り組み〉

田原公民館及び開発現地 10月30日(木)

組合員 87名

開拓作付面積:47町歩

(内訳:米30町歩・採種用麦・ネギ等)

地元有志の方々が自ら立ち上がり、耕作放棄地となった田原地区の荒廃地を開拓した経過など説明を受けました。

社会文教建設常任委員会視察研修

栃木県真岡市の複合交流拠点施設 11月6日(木)

【視察目的】公民館などの建て替えを視野に、どんな機能・施設が必要かの調査研究のため。

〈monaca (もなか)〉

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」がコンセプト

この3つの機能を融合させ3階建て。書籍や新聞のほか、行政資料・市に関する新聞記事など学生・市民・親子連れなどの興味や関心にこたえる魅力的なゾーンとなっており軽食・喫茶もあり、滞在型施設である。

いたるところに椅子・テーブルがあり、好きな場所で読書・歓談などゆっくりできる



1階の外テラス



2階の外テラス

1階 市民交流センター (にぎわう)



喫茶もできるゾーン

2階 子育て支援センター (遊ぶ)



子育ての話ができるようテーブルも



3階 真岡市図書館 (学ぶ)



学習スペース



真岡市やその周辺の市町村の行政資料や市出身の作家の本などを配架。

福島県大熊町の義務教育学校 11月7日(金)

【視察目的】「インクルーシブ教育※」の先進地
あるべき教育の姿についての調査研究

※インクルーシブ教育…障がいの有無・年齢などにかかわらず、個に応じて学べる教育。

〈学び舎 ゆめの森〉

東日本大震災を受けて、学校の在り方を根本から捉え直したという
保・小・中一環の義務教育学校 (0~15歳までが対象、学童保育も併設)
現在の在籍/保育園児38名、義務教育学校 61名 合計99名 (11月現在)

●理念「わたし」を大事にし、「あなた」を大事にし、みんなで未来を紡ぎだす

- ・「わたし」を大事に…震災・原発事故に直面し翻弄された経験から価値観・学力観を転換
- ・「あなた」を大事に…震災後多くの分断・対立に直面するとともに多くの温かい支援に支えられた大熊から、最も優しい社会を作り出していく。
- ・みんなで未来を紡ぎだす…自らが主人公となり理想とする未来を描き、他者と共に未来を創造する学びと地域実現の相乗効果を創出する。

指導要領で定められた学習の目安はあるが、毎週金曜日は児童が自らカリキュラムを編成できる。自分の興味関心を深めたり、さらに探求したいことを追及できる時間。好きな場所で学べる。ホワイトボードに地図を描いて学ぶ姿。



みんなが思い思いに集まる広場



教室の壁はなく、教科ごとの部屋があり、学習関連の図書・資料が配架されている (理科ゾーン)



グループの大きさにより変えられる組み合わせ型デスク



令和7年第4回定例会を12月2日から12月12日までの11日間の会期で開き、
条例や補正予算などについて審議を行った。



【結果の表示】 ◎ 全会一致で可決など ○ 賛成多数で可決（賛否一覧参照）

| ◇ 条例の制定（3件） | 結果 |
|---|------|
| 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について | ◎ |
| 立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定について | ○ |
| 立科町御泉水自然園条例の一部を改正する条例制定について | ○ |
| ◇ その他（1件） | 結果 |
| 立科町公の施設に係る指定管理者の指定について （立科町都市農村交流施設「農産物加工・直売・食材供給施設」及び道の駅「女神の里たてしな」について） | ○ |
| ◇ 補正予算（6件） | 結果 |
| 令和7年度立科町一般会計補正予算（第7号）について | ◎ |
| 令和7年度立科町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について | ◎ |
| 令和7年度立科町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について | ◎ |
| 令和7年度立科町介護保険特別会計補正予算（第2号）について | ◎ |
| 令和7年度立科町水道事業会計補正予算（第1号）について | ◎ |
| 令和7年度立科町下水道事業会計補正予算（第1号）について | ◎ |
| ◇ 陳情（2件） | 結果 |
| 65年前の昭和の合併から続く、茂田井地区の現状改善に関する陳情 | 趣旨採択 |
| 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書 | 採択 |
| ◇ 発議（1件） | 結果 |
| 国会議員の定数削減に慎重対応を求める意見書の提出について | 否決 |

賛 否 一 覧

| 議案等番号 | 議案等の件名 | 議 員 名 | | | | | | | | | | | 議決結果 | |
|--------|---|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| | | 秦野仁美 | 宮坂幸夫 | 小野沢常裕 | 今井健児 | 芝間教男 | 中村茂弘 | 森澤文王 | 村田桂子 | 榎本真弓 | 今井清 | 村松浩喜 | | 今井英昭 |
| 議案第55号 | 立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ■ | ○ | ■ | ■ | — | 可決 |
| 議案第56号 | 立科町御泉水自然園条例の一部を改正する条例制定について | ○ | ○ | ■ | ○ | ○ | ○ | ○ | ■ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 |
| 議案第57号 | 立科町公の施設に係る指定管理者の指定について （立科町都市農村交流施設「農産物加工・直売・食材供給施設」及び道の駅「女神の里たてしな」について） | ○ | ○ | ■ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — | 可決 |
| 陳情第6号 | 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書 | ■ | ○ | ○ | ■ | ○ | ○ | ○ | ○ | ■ | ■ | ■ | — | 採択 |
| 発議第5号 | 国会議員の定数削減に慎重対応を求める意見書の提出について | ■ | — | ■ | ■ | ○ | ■ | ■ | ○ | ■ | ■ | ■ | — | 否決 |

※「○」は賛成 「■」は反対 議長の小井英昭議員は採決に加わりません。

※宮坂幸夫議員は発議第5号の採決を棄権しました。

※これ以外の案件等は、全会一致でした。

立科町索道事業条例の一部を改正する条例

★反対 今井 清

ゴンドラ・リフト運賃の上限を大幅値上げし、夏は片道1,200円を2,400円、往復2,400円を3,600円、冬は1日券6,000円を9,000円、シーズン券75,000円を150,000円にするもの。家族連れ離れや客数減少、周辺宿泊・飲食業への悪影響が懸念される。物価高の中で「利用者があきらめない価格設定」とするべきであり、市場調査や住民の声を踏まえた慎重な誘客策が必要として反対する。

立科町御泉水自然園条例の一部を改正する条例

★反対 小野沢 常裕

御泉水自然園の入園料上限を900円とし、愛玩動物の入園料を新設するもの。愛玩動物の料金はゴンドラとの整合性からやむを得ないが、自然園には湧水や高地植物など魅力が多く、入園料は1,000円程度でもよいが、上限900円では難しいとして改正案に反対する。町民は無料とし、上限を1,500～2,000円に引き上げる案を3月議会に再度提出してほしい。

立科町公の施設に係る指定管理者の指定について

(立科町都市農村交流施設「農産物加工・直売・食材供給施設」及び道の駅「女神の里たてしな」について)

★反対 小野沢 常裕

来年度から5年間、道の駅の指定管理者を「農事組合法人蓼科農ん喜村」とするものだが、その選定方法に問題があると考えている。現管理者には公募の可能性を伝えた一方で実際には公募を行わず、より優れた事業者を募る機会を失っているのではないかと懸念している。町民には無関心や諦めが広がり、町の活性化には外部の新しい力が必要である、それをしない町の姿勢に賛成することはできない。

条例の一部改正3件、公の施設に係る指定管理者の指定、一般会計補正予算第7号

★賛成 中村 茂弘

条例の一部改正、指定管理者の指定、一般会計補正予算について、内容はいずれも適正かつ妥当であり、特段問題となる点はないと判断し、賛成する。

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

★趣旨採択に反対(原案に賛成) 村田 桂子

医療・介護・障がい福祉の現場が経営難と人手不足で崩壊寸前にあり、来年度の医療報酬改定に合わせて介護・障がい福祉報酬も1年前倒しで全体10%以上引き上げること、さらに25年度も国の責任で他産業並みの賃上げを行うよう求めている。報酬は1998年以降引き下げられ続け10%以上低下し、一時金は他産業より約60万円少ない。離職や倒産が増え、深刻・緊急の事態であり、「原案」を採択すべきと考える。

★趣旨採択に賛成 今井 健児

主旨には賛成だが、陳情項目の中の10%以上の大幅な引き上げは、制度・財政の整合性からハードルが高く、医療、介護・障害福祉は公費と保険料で支える仕組みのため、「国費・地方財政・保険料の同時負担増」を招く構造とならないか、この部分に対しては現実的ではない。10%以上の引き上げは果たして現状妥当か。実現の可能性はあるのか。議員として厳粛に解釈をする必要がある。

国会議員の定数削減に慎重対応を求める意見書の提出

★反対 森澤 文王

国会議員の議席数、裏金問題、献金禁止、政治不信などの課題は、本来国会で議論・解決すべき事項であり、地方議会が「立科町」「立科町議会」の名で意見書として国に提出する性質のものではないと考える。立科町民の生活に直接かかわる国政問題ならまだしも、国の政治の在り方に一方向の意見を「立科町」の名で示すことは、一議員・一町民として容認できず、この意見書に反対する。

★反対 秦野 仁美

立科町議会は、町民の暮らしに直結する課題を議論する場である。国会議員定数の在り方は国の根幹に関わる問題であり、国会で丁寧かつ慎重に審議すべきで地方議会が日本全体の方向性を定めることには慎重であるべき。子育て、教育、産業、医療、福祉など目の前の課題に専念することが重要であり、国政全般への意見表明が増えると本来の役割が曖昧になるため、本意見書には賛成できないと結論づけた。

★賛成 芝間 教男

長野県選出の国会議員は現在5名だが、小選挙区定数を25減らすことで4名となり、長野県や立科町の声が国政に届きにくくなる。また、1年以内に結論が出なければ計45議席を自動的に削減する「自動削減法」とする点は極めて乱暴である。さらに、議員削減分を議員秘書増員で埋める議論は税金の節約にもならず、日本国民の利益を考えない法案であることは明らかであり、意見書に賛成する。

総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・産業振興課・会計室・議会事務局
 委員長／芝間教男 副委員長／中村茂弘
 委員／今井英昭 今井 清 榎本真弓 小野沢常裕

12月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑 Q & A

立科町索道事業条例の一部を改正する条例制定について

Q 索道料金の改正、今後5年間を見越しての設定のことだが、設定金額が高くないか。

A 市場や入込状況など総合的に踏まえ、金額の範囲内で指定管理者が設定し、町が承認するもの。

Q 近隣の料金調査は行ったか。

A ある程度把握しているが、条件も異なるので適正金額については何とも言えない。

Q 料金を上げると来客数が減るのではないか。

A 来シーズンの以降の料金からは、来年度の状況を見ながら設定していく。

Q 損益分岐点を考慮して料金設定をしたのか。

A 指定管理者が分析を行い、町が確認の上で設定したものだ。

Q 近隣スキー場に合わせる必要はなく、独自路線で良いのでは。

A 全体のバランスを見ながら、スキー場で出来るサービスに応じた料金設定を考える。

立科町公の施設に係る指定管理者の指定について（立科町都市農村交流施設「農産物加工・直売・食材供給施設」及び道の駅「女神の里たてしな」について）

Q 指定管理者の評価について、生産者の声を聴いているか。

A 生産者は組合員であるので、役員に届いているものと考えられる。

Q 農機具などは店舗内でなく、他の場所で販売すべきではないか。

A 配置等についてはある程度、指定管理者に任せている。

Q 情報発信コーナーは活用されているか。

A 地域おこし協力隊が活動している。

Q 公募しなかった理由は。

A 指定管理者制度導入前の実績、イベント開催や地域連携のノウハウ、サービスの維持向上など、総合的な評価により判断した。

社会文教建設常任委員会

所管 町民課・建設環境課・教育委員会
 委員長／村田桂子 副委員長／森澤文王
 委員／村松浩喜 今井健児 宮坂幸夫 秦野仁美

12月9日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

質疑 Q & A

令和7年度立科町一般会計補正予算（第7号）について

Q 妊婦の為の支援給付金とは。

A 妊娠届時に5万円、出産後に5万円を支給する制度で、これまでの応援給付金を見直したものだ。多胎妊娠の場合は人数分が支給され、流産・死産の場合も対象。

Q 町営住宅建設事業で、工事請負費が3千2百万円増額された理由は。

A 人件費や建設資材の上昇、敷地造成において、想定以上に盛土が必要になった。

Q 町産材の活用はどうか。

A 建物全体の約7割を使用。

Q 工事は順調に進んでいるか。

A 全棟の上棟が完成し、現在の進捗率は約60%。工事は概ね順調だが、今後の大雪などの影響により、工期が延びる可能性もある。



完成間近の移住定住促進住宅（町区）

Q 令和8年3月の竣工を目指して進めている。

A 令和6年9月の落雷により、多目的運動場の照明設備が被害をうけた。照明制御盤の部品交換・被害を受けたLED照明の交換・再発防止の為の避雷設備の設置を行う。

診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書

委員会では、物価高騰や人材確保の困難により、医療・介護・障がい福祉の現場が厳しい状況にあり、地域医療の維持が重要であるとの認識を共有した。一方、陳情に示された具体的な数値目標については、賛成が難しい点があると判断し、趣旨採択とした。

質問項目



今定例会では、議員7人が一般質問を行いました。

いまい きよし
今井 清 議員 …………… 7ページ
自主財源確保対策を考えているか

もりさわ ふみお
森澤 文王 議員 …………… 8ページ
町有施設の更新について

おのざわ ときひろ
小野沢 常裕 議員 …………… 8ページ
1 権現の湯のボイラー交換設置について
2 蓼科高等学校育成会について

はたの ひとみ
秦野 仁美 議員 …………… 9ページ
こどもの健康と安心 インフルエンザワクチンの助成を

いまい けんじ
今井 健児 議員 …………… 9ページ
1 権現山運動公園の再整備をして町民がより輝く町を推進しよう（追跡質問）
2 中央公民館等の複合施設の整備は権現山に

みやさか ゆきお
宮坂 幸夫 議員 …………… 10ページ

- 1 町主催の行事について
- 2 地域懇談会後の対応について
- 3 追跡質問
 - ・ 芦田商店街の活性化について
 - ・ 職員給与について
 - ・ たてしなびの活用について
 - ・ 中原宮前地域の道路改善についての進捗状況は
 - ・ 権現山周辺整備について
 - ・ 反問権の導入について、前回と考えは同じか。また、反問権をどのように捉えているか
 - ・ 職員の意識改革の推進について
- 4 教育委員会の事業について
- 5 企画課の事業について
- 6 総務課の事業について
- 7 道路パトロールについて
- 8 町民課の事業について

むらまつ ひろよし
村松 浩喜 議員 …………… 10ページ

- 1 地域懇談会を今後の施策に活かすために
- 2 白馬村での視察を、今後の施策に活かしてほしい

※太字の質問を掲載。議事録は議会ホームページで閲覧できます。



今井 清
いまい きよし

町長 立科町応援感謝券などにより寄付金額を伸ばしており、令和6年は。

問 地方自治体は稼ぐ力が試される時代、ふるさと寄付金については。 別荘の空き区画数と活用方法は。 総務課長 1595区画のうち未契約区画数は596区画。比較的好条件の区画を計画的に整備して契約推進している。

問 近年の温暖化の進展により、この地域の優位性がより一層注目されると感じている。 たくさんの空き区画の別荘を夏の涼しさを売りにして有効活用したかどうか。

問 多額の借金返済はどのような返済計画なのか。 総務課長 地方債の償還は、償還期間をできるだけ長期として平準化し有利な起債を活用。 問 中央公民館等大規模施設建設費用の財源はあるのか。 総務課長 過疎対策事業債と基金の活用を予定している。

自主財源対策を考えているか



立科産カラマツ材

問 度は1億7千5百万円ほど。伐採適期を迎える町有林カラマツ材の販売は。 産業振興課長 60年生カラマツの面積は874haあり、計画的に伐採したい。 問 他地域で導入が進む入山料を蓼科山登山者にも適用したかどうか。 町長 八ヶ岳連峰周辺市町村で立ち上げた環八ヶ岳連携推進協議会で検討したい。 結び 令和6年度年決算で、立科町の自主財源（独自に収入を決定すること）ができる財源は収入全体の38・5%のみ。スキー場整備に35億円の予定、今後中央公民館周辺整備にも多額の支出が見込まれる。自主財源を増やすことを町全体で取り組む必要がある。



森澤 文王
もりさわ ふみお

町有施設の更新について

問 中央公民館より小学校校舎の更新を先に検討するべきであり、少子化と財政の観点から小中一貫校など校舎を一つにする検討もなければと考える。どの様に考えているか。

教育長 立科小学校は、建築から48年経過し老朽化が進み、年々施設の修繕費も大きくなって来ている。中学校も建築以来36年が経過し、維持管理費は年々大きくなってきている。

また、小中学校の児童生徒数は減少しており、町では人口増に向け、各種子育て支援施策に取組んでいるが、即効性のないことから、今後も児童生徒数の減少は続くと推測している。

これらを踏まえ、今後の学校運営については「総合教育会議」において、現状認識と情報の共有を行っているところであり、これからの時代にあつた教育環境の整備に向け、行政需要や財源等、総合的な見地から慎重な考察が必要と考えている。

学校施設の建替えや、校舎の利活用については、小中学校の児童生徒

数をみる中で、児童生徒を一貫した方針で育てる事や学びの継続性の観点から小中一貫校などの検討も当然必要になってくると考えている。これらについても総合的に慎重に取り組みが必要であり、他の事業計画も視野に入れながら様々な方向から施策の検討をしていきたいと考えている。

問 小中一貫校を建てれば、中学校校舎が空くなど、すでに議論がされているものと思っていたが、議論されているのか。

教育長 学校の改築等には、長期的な視野で検討している。

問 長期的とは。

教育長 財政的な長期的見通しを立てた上でのという意味である。



中学校校舎の利活用を視野に入れるのも良いのでは



小野沢 常裕
おのざわ ときひろ

蓼科高等学校育成会について

問 育成会を組織している人たちは誰か。また、現在の会長は誰か。

教育次長 育成会規則による組織は、町の理事者、正副議長、社会文教建設常任委員会の正副委員長、総務経済常任委員長、教育委員、小中高等学校の長及び教頭、高等学校事務長、中学校高等学校の進路及び生徒指導主任、小学校PTA会長、中学校高等学校PTA正副会長、高等学校正副同窓会長の36名で、会長は両角町長である。

問 事務局が立科町教育委員会にあるが、任意の会なので教育委員会の本務ではないのではないか。

教育長 設立当初から規則によって町の教育委員会に置かれている。地域高校を応援する立場から、事務の継続性も考えるとほぼ妥当であると思認識している。

問 ポプラアカデミーで、一回500円を徴収しているが、収支決算事務も教育委員会が行っているのか。

教育次長 授業料の徴収は講師が行っているが、収支決算は教育委員会

が行っている。

問 この会の目的は何か。

教育次長 高等学校を地域ぐるみで育成し、名実ともに地域の教育の殿堂にふさわしい学校として発展させることを目的にしている。

問 昭和60年から令和6年までに町から出された補助金の総額はどれくらいか。

教育次長 40年間で、約2億5400万円ほどになっている。

問 高校の現状を見ると、その役割は終わったのではないか。会は解散して、新たに「蓼科高校の存続を支援する会」を立ち上げたらどうか。

町長 育成会は今後も継続する必要性があると考えているので、現段階では解散は想定していない。

問 やがていつの日か、この育成会が必要でなくなる日が来ると思う。会の解散はどのように行うのか。

町長 最終的には今ある総会に諮るようになるが、その前に十一名の役員の中で話し合せて、そこから立ち上げていくことになる。

結 町長の、蓼科高校を守るという固い決意は分かった。来年4月から国が小学校の給食を無償化する。現在町が負担している給食費で、蓼科高校生の通学費を無償化したらどうか。

立科町にも「スクートチエ」が必要だ。たまには、皆がびっくりするような話題性のあるニュースがほしい。

子どもの健康と安心
～インフルエンザワクチン助成について～

問 毎年流行するインフルエンザは、子どもから家庭・学校・地域全体へと影響が広がる。立科町としてインフルエンザ対策をどう重視しているか。

町長 インフルエンザは、高齢者や基礎疾患のある方が重症化しやすく町では、高齢者等を対象に定期接種を実施し、感染対策に取り組んでいる。

問 町内の学校や保育園での感染状況や学級閉鎖の状況は。

教育次長 令和5年度は感染者が多く、学級閉鎖も発生しましたが、令和6年度以降は減少傾向。引き続き手洗いや換気など基本的な感染対策を徹底していく。

問 子どものインフルエンザ予防接種は任意で自己負担である。子育て世帯の経済的負担について、町はどのように考えているか。

町民課長 ワクチンは重症化予防に効果があると認識している。子育て世帯への経済的支援の観点も含め、検討の余地はありと考えている。

問 県内では、助成を行う自治体も増えている。立科町でも段階的な助成導入は可能か。

町民課長 他の自治体の状況を情報収集し、今後の方向性について検討していきたい。

問 助成を実施した場合の効果や予算規模は。

町民課長 接種率向上や感染抑制の効果が期待される。仮に18歳までを対象に一部助成した場合、年間150万円程度の町負担と試算。

結 子ども達や町民が安心して冬を過ごせるように、保護者がお働き世代・高齢者を守るため、まずは一歩踏み出した助成制度の導入を求めた。



秦野 仁美
はたの ひとみ



権現山公園の再整備をして、
町民がより輝く町を推進しよう

問 前回の9月定例会で「令和8年度において、風の子広場の遊具の更新等について、構想をまとめる方向であり、その際、整備が可能なのか、住民のニーズも把握しつつ、今後の検討課題とする予定であります。」と教育長より答弁があった。検討の進捗状況は。

教育長 令和8年度において、遊具の更新について、基本的な構想をまとめる方向であり、その際、3×3など、小規模スペースで維持管理が比較的シンプルなものであれば、整備が可能なのか、検討課題とする予定である。令和7年度は、近隣市町村の公園等を確認し、公園のコンセプトや、遊具等の設置、費用などを調べながら、アーバンスポーツの設置も含め、風の子広場で参考となりそうな事例等を研究している。

中央公民館等の
複合施設は権現山に

問 基本方針策定の中、候補地は何よりも重要であると考える。町

は町民全世代が集う憩いの場所づくりとして、建設後の運営に対して数十年、前世代が集える仕組みづくりを考えているのか町長に伺う。

町長 中央公民館をはじめとする、その周辺施設の整備については、議員の皆さんにも申し上げたが、心豊かな暮らしを実現していくために、子どもから高齢者まで、全世代が気楽に集え、多様なニーズに対応し、催しが開ける、夢のある施設にしたいという思いがある。しかしながら、限られた予算規模もあるので、施設の整備エリアの選定においては、現在進めている「中央公民館等周辺施設整備計画基本構想」策定の中で、しっかりと検討を進めており、現段階で議員ご提案の権現山運動公園も含め、検討をしている。



今井 健児
いまい けんじ



未来へ 教育と文化を育む拠点に



宮坂 幸夫
みやざか ゆきお

問 合併七十周年記念式典、ずばり町長の自己採点は何か。

町長 主催者として点数を付けるのは適切ではないと考えている。

問 町民まつり、立科えんでこれを今後、イベント会社に委託するということについてどのように考えるか。

企画課長 町民まつり実行委員会が出された意見かと思われ、承知している。

問 今後、4年に一度の町民に笑いと元気を与えるイベント開催は、企画課長 単に4年に一度開催するだけでは、町民の心を引き付けることは難しいものと考えます。

問 地域懇談会を終えて、町民の意見等から来年度に予算化する事業はあるか。

町長 予算編成中であり、いただいた意見をしっかりと精査したい。

問 歩道の環境改善をして芦田商店街の活性化のきっかけにしては。建設環境課長 地域の皆様の意向を踏まえ、必要に応じて県に要望する。

問 たてしなびを活用し、ラジオ体操の定時放送ができないか。

企画課長 著作権やシステムの問題により、対応できない。

問 中原宮前地域の道路改善の進捗状況は。

建設環境課長 現場確認を重ねながら、段階的に対応している。

問 権現山の平成16年取得の土地6969㎡の一坪当たりの金額は。

教育次長 約1万3553円である。

問 不登校生支援のため、ネット出席制度の導入をしては。

教育次長 今後も接触と対話により、登校意欲が湧くよう支援する。

問 権現の湯町民特別優待券の廃止と昨年の利用率、作成経費は。

町長 今後も継続して配布する。

企画課長 利用率は66・3%。作成経費は10万3千4百円。

問 公用車のリースを検討しては。

総務課長 既に6台導入しており、今後も研究を進める。

問 町民参加型道路パトロール隊員(仮称)の導入は。

町長 既に町職員、不法投棄巡回員等による巡回等を実施しており、現時点では検討していない。

問 民生児童委員の待遇改善(町独自の手当)を考えないか。

町民課長 現在のところ見直す予定はない。

問 保健センター内の栄養研究室の流しの環境改善が必要ではないか。

町民課長 備品や消耗品等は必要に応じて都度、交換や補充をしている。



村松 浩喜
むらまつ ひろし

地域懇談会を今後の施策に活かすために

問 今年10月1日から6日にかけて「地域懇談会」が開催された。

①懇談会の感想、課題等は。②今回同様に全町民を対象にした懇談会の開催予定は。

町長 ①町会議員を含めても参加者は延べ41名で、少なかつた。参加者アンケートを参考に、内容や開催時期を検討したい。②今年度2回目と来年度、いずれも開催予定はない。行政運営の実績を、長期的な視野で検証していただいた上で意見を伺いたいから。

問 ここからは、役場で作成し、ホームページ等で公開されている、懇談会の要約文書に基づいて質問する。①民生児童委員②地域役員のもの手不足に対し、どのように取り組むか。

町民課長 ①民生児童委員の選出は、今後も地域からの相談を受けながら、地域からの推薦を優先したい。

総務課長 ②地域役員のなり手不足についての課題は共有している。地域コミュニティ活動の活性化支援、地区への依頼事項のスリム化に努めたい。

結び ①民生児童委員のなり手不足は当町だけではない。上田市では12月から「民生委員協力員制度」を導入する。このような市町村の動向も参考に、より良い地域福祉を継続してほしい。

②地域役員の負担軽減を図り、現場職員の適正な業務分担にも配慮し、地域担当職員制度を見直すべきだ。

問 地域懇談会では、中央公民館周辺施設整備についての質問もあった。合意形成のプロセスは、利用団体等からのヒアリング↓基本構想策定↓町民説明会とのこと。

①町民アンケートは実施しないのか。②町民説明会で示される基本構想は、2か所以上の整備候補地を想定したものになるか。

企画課長 ①実施しない。②候補地は2か所以上で提示する。

問 現在建築中の移住定住促進住宅の入居条件・家賃等について、決定前に町民や議会の意見を聞くか。

町長 条例案の整理状況を踏まえ、議会には提示する。町民から意見を聞くことは想定していない。

問 移住者を受け入れるためには、更なる住居の確保が必要だ。空き家バンクへの登録件数は、とても少ない。どのように住居を増やすのか。

企画課長 空き家を貸す側と借りる側をマッチングする、新たな形態を模索中だ。来年度は、町の空き家対策の補完的な役割を果たす「空き家等管理活用支援法人制度」の活用も目指す。

聴かせてください あなたの思い No.5

広報広聴委員会

令和7年11月13日、中央公民館で立科町へ移住された皆さんと意見交換会を行いました。



立科町の良さは
どこですか

- 一年を通して景色を楽しめる。
- 晴天率が高く、災害が少ない。
- 水、米、リンゴが美味しい。
- 近所の人たちが優しい。畑を貸してくれたり、野菜を分けてくれたり、育て方を教えてくれる。
- 一方通行がないので、行きたい所へ直に行かれる。
- 外灯が少ないので、星が沢山見える。
- 歴史を感じる芦田宿や茂田井間の宿が残っている。
- 何もないので、自分で作るようになる。

議員から説明しました

- 公共物の有効活用について
- デマンド交通の実証実験について
- 空き家対策の現状について
- 移住定住促進住宅について
- 町営住宅への入居について
- 町をPRする広報について
- 病院への送迎について

改善してほしいこと、
疑問に思うことは
何ですか

- 公共交通
 - ・車がないと生活できない。
 - ・高校生の送迎が負担になっている。
 - ・病院への足が不便。タクシー利用の1,000円は高すぎる。
 - ・免許返納後の生活がどうなるのか不安。
- こんなはずではなかった。知らなかった。
 - ・部落費や区費の徴収
 - ・区や部落の役員
 - ・草刈りや祭りへの参加
- これって何？
 - ・環境衛生カレンダーの南部・西部・東部とはどこ
 - ・生活改善、土地改良区、安協
- 移住者への配慮が足りない。分かりやすくまとめてほしい。
- コミュニティが部落内にしかない。広い範囲のコミュニティがほしい。
- 住みたい人が住める住宅がない。空き家が沢山あるのに4億6千万円もかけて移住定住の住宅が必要なのか。
- 危機管理ができていない。議会はチェックをしっかり行ってほしい。
- 別荘地が荒れてきている。別荘で事業ができるようにしてほしい。
- ファミリーで取り組む林業への支援がほしい。
- 道の駅からの納付金が少ない。
- 町の良さが外へ発信できていない。



町長へ「要望書」を手渡しました（表紙）



12月3日、今井議長から両角町長へ要望書を手渡しました。

この要望書は、議会改革の一環として、令和8年度当初予算編成および今後の政策形成に向けての要望事項を取りまとめたものです。子ども議会の他、移住者の皆様や商工会青年部など各種団体との意見交換会、日頃の議員活動などを通じて把握した、さまざまな声を反映させました。

※要望書の全文は、立科町ホームページの議会ページでご覧いただくことができます。



議会ホームページ

長野県町村議会議長会自治功労者表彰

町村議会議員として長年在職し、地方自治の振興発展に貢献したことが認められ、(写真左から)村田桂子議員、今井清議員、今井英昭議員、村松浩喜議員、森澤文王議員が長野県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞されました。

第4回議会定例会閉会后、議場にて伝達表彰されました。



「議会と語る会」開催のお知らせ

町民の皆さまを対象に「議会と語る会」を開催します。町政や議会について、日頃感じていることやご意見をぜひお聞かせください。どなたでもお気軽にご参加いただけます。

【開催日程・会場】令和8年2月10日(火) 19:00～ 老人福祉センター 集会室※
2月14日(土) 14:00～ 老人福祉センター 集会室※
○14日(土)の会場は中央公民館大会議室に変更となる場合があります。
2月17日(火) 14:00～ 女神湖体育館 会議室
※オンラインによる参加もできます。詳しくはこちらへ→



【お問合せ】 議会事務局 Tel.0267-88-8413 E-mail:gikai@town.tateshina.nagano.jp

◎議会だより187号の訂正とお詫び

議会だより187号の7ページおよび13ページに誤りがありましたので、訂正しお詫びします。正しくは次のとおりです。

7ページ3段目 (誤) 助成団体補助・ ⇒ (正) 女性団体補助・

13ページ3段目 4つめの質問に対する答弁

(誤) 町長 ⇒ (正) 産業振興課長

(誤) 現町政となつてから4年間の ⇒ (正) 現町政となつてから6年間の

(誤) 8,158万1千円 ⇒ (正) 4,043万7千円

4段目最初の総務課長答弁

(誤) 7,773万7,839円 ⇒ (正) 773万7,839円

編集後記

見ゆる限り
山の連りの雪白し
初日の光
さしそめにけり
島木赤彦

新しい年が明けました。昨年はコメ・燃料などの物価高騰がとどまらず、クマの出没報道と「台湾有事は存立事態」発言が日中間の緊張を高めるなど緊迫の年末でした。戦火の止まない世界。力を合わせ「戦後〇〇年」を続けたものです。

家族集いて餅を焼く
笑顔あふれる炬燵の温も
(詠み人知らず)
村田桂子

○今後とも「議会だより」を
ご愛読ください。

広報広聴委員会

委員長
副委員長
委員

秦野仁美
小野沢常裕
榎本真弓
村田桂子
芝間教男
今井健児